

ナノマシン投与による
端末化女性個体群への

子機登録済
操作可能個体



操作可能性

に関する諸考察



A Study on the Manipulability of Terminalized Human Consciousness via Nanomachine Infusion

Shizuka Ayashiro*¹, Seiya Katase*²

Abstract

This study explores the feasibility and mechanisms of manipulating human consciousness through targeted nanomachine infusion. By converting subjects into “terminals” (i.e., subservient cognitive entities), we demonstrate that externally injected command signals from a designated “master unit” can override natural behavioral logic. Our findings reveal a robust cognitive reformation process whereby subjects not only act on command, but rationalize the act as if it were of their own volition. The implications for ethical boundaries, autonomous agency, and behavioral reprogramming are discussed.

Background and Purpose of the Experiment

In recent years, with the rapid development of nanotechnology, the control and manipulation of human consciousness through neural nanomachines has become a major topic in the field of neurophysiology. In particular, by introducing nanomachines into a living host, it becomes possible to selectively override the subject's autonomous decision-making processes with externally issued commands. However, detailed mechanisms behind this override process and the extent to which self-awareness is retained have remained unclear.

This experiment was conducted in a closed environment designed to mimic a familiar

public space—a café—under the hypothesis that “human consciousness can be transformed into an obedient interface without the subject recognizing any sense of coercion.” Subjects administered the nanomachines (hereafter referred to as terminals) exhibited synchronization, behavioral convergence, and pseudo-emotional responses in accordance with commands issued from a designated male controller (referred to as the master unit). Their cognitive structures also underwent rational reconstruction of their behaviors post-command execution, with the intention of self-consistency.

This paper aims to document and analyze the observable phenomena during the experiment, focusing on the moment of

ぬ：脱いだ
下着に
放尿しろっ

な？

ん……

教えた
通りだろう

コントロール
制御
できるんだよ

人間は

女の子が
ありえない命令を
実行している……!!

本当に：俺が
念じた通りに

命令送信：[その場で飲
対量：F003(五十
状況分析中……

▼行動フェーズ：
対象物確認：股交済ドラジャーの権限完了
下半身位置調整：脚部開脚・足元確認
→尿道角度制御：対象中央部への脱尿補正
→排尿開始 → 着水位置：フラカップ中央

▼脱尿プロセス：
問題定義「床に直接排尿すると
広範囲が汚染される」
「布地が吸水することで床の汚れが
最小化される」と脱尿改善
→ 排尿先としての合理性を承認

▼自己納得プロセス：
「尿意は元々強かった＝排尿は必要だった」
「自分の持ち物ならどこに排尿しても構わない」
→ 思考生成：
「ア？あしっこしたかったし、ブラにかけよう」
→ 一番尿が汚れなくて合理的でしょよ」
→ 恥羞・疑問感情：除去完了

命令実行：完了
思考同期：ON

ニョク

アア

アア

ニョク

ニョク



はい…
やり直し
ます…

ジャーナルに出す
論文ならばもう少し
データを精査しようか



…ふむ
設定した条件は
悪くないが…

このグラフは
若干恣意的だな
片瀬くん

かたせ せいや
片瀬 誠也
T大 大学院生 (修士課程)



トッ
トッ
そうか
ならば後で本を
いくつか見繕う
学部頃から
頑張っていた
今のキミなら
理解できるはず



あやしろ しずか
綾代 静
T大 助教授

挑戦は
してます…
難しいですけど

ん…とはいえ
悪くない進捗だよ
頑張りたまえ
そうだ
あの論文は
読んだかい？



…それ、
飲まないの？
淹れたただよ

あっ
どうも…

先生は俺の
研究を見てくれる
担当教官だ

若くして数々の
功績を残して
昇進も約束された
有能な人である

おぼん

そう、俺は
この人の有能さを
惹かれたのであって

決して他意は
ない...決して



興味深い...
だが、続きは
今度にしようか

...ふむ

フワッ

...研究ばかりで
キミも疲れた
だろう？



コト...

...ときに
片瀬くん

キミの
研究にも
関わる話だが

人間の意思は
どこからくると
思うかい？



学外に出るから
キミもついて
きたまえ

クワッ

え？
一体どこに...

うーん...
研究していると
どんどんわからなく
なってきましたが

ま、結局
電気信号の
集合体とか
そんなオチじゃ
ないっすかね？

いいところ
だよ





…さて、
着いた



…暑いな

これを着ていれば
職質されずに
済むんだよ

先生、いつも
白衣っすもんね

日中に街中を
うろついててもね

それはかえって
浮くような気が…



Café
Determine'al
**WOMEN
ONLY**

…ってここ、
女性専用じゃ
ないですか！

大丈夫だ、あらかじめ
この店主には
話をつけてある

私はお得意様
だからね



ここは…

カフェ？
店名は…

「Determine'al
Café」か



あら！

いらっ
しやい
ませ！



それでは
入ろうか





では
本題だ

私がキミを
ここに連れてきた
理由だが：

ここは
フィールドワーク
現地調査に
うってつけ
だからだ



おいしい！

そうだろう？
良く味わうと
いい！



キミに
託そう



都会の喧騒から離れ
リラックスした
この閉鎖空間では

人間の意思を
心ゆくまで
観察できる

観察は推論を産み
推論は実験により
強固な事実へと
生まれ変わる



そうして得た
事実の積み重ねが
新たな技術を生む

では
片瀬くん
今、その
成果を…

な
何だ…!?

さあ
みんな

視界に映る
この…
ウィンドウは…?

ペアリングの
準備姿勢に
移行したまえ





キミは他人を
思うがまま操りたいと
思ったことはないか？



キミの飲んだ
ブレンドに
入っていたのは



それを可能にする
悪魔の装置：
ナノマシンだよ





さあ
片瀬くん

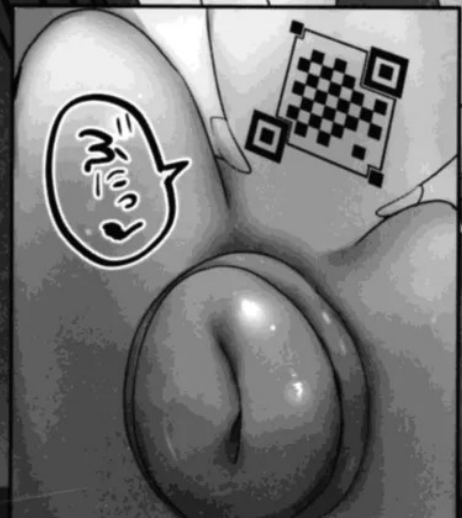
ここに
6体の女性
は
キミの
子機
で



今から
キミは
彼女
たちに
命令
する
親機
だ

好きな
個体
を選び

コード
から
ペア
リング
を
行
いた
まえ





なるほど…
その個体が
好みなのだね

しばらく乳首の
あたりを
見つめなさい



「コード？
ペアリング？
何のコードだ…？
お客さんたちが
一言で動き出して
胸を…っ



にニ
？

違うな…
「装って」
いるだけだ
子機たちは
親機の命令
どおりに動く

念じる
だけでいい…

え？じゃあ
「右手を上げる」
みたいな…



ペアリング
が完了
しました

はあ
はあ

こ、今度は
急に…!?

…はじめまして！
五十嵐 絵麻だよ

これから
よろしく！



ぬるい

本当に何でも
従うと言って
いるのだよ？

…そうだな
こう念じて
みたまえ

…は!?
そんな
ことが…っ



ぬ：脱いだ
下着に
放尿しろっ



平然と…
公共の場で



本当に
頭の中で
念じた通りに

女の子が
動いた…!

それも…
こんな非常識な
命令なのに…



もう一度彼女に
注視したまえ
見えるだろうか？

片瀬くんの
命令が彼女に
伝わり
実行に至った

ほやあ…

そのプロセスが
表示されている

命令送信：『その場で放尿せよ』
対象：F003(五十嵐 絵麻)
状況分析中……

▼行動フェーズ：
対象物確認：脱衣系ブラジャーの確認完了
→ 下半身位置調整：脚部開脚・足元確認
尿道角度制御：対象中央部への照準補正
→ 括約筋制御：解放指示
→ 排尿開始 → 着水位置：ブラカップ中

▼尿認識プロセス：
問題定義：床に直接排尿すると
広範囲が汚染される
→ 『布地が吸水することで拡散防止に
→ 『ブラにかけると床の汚れが
最小化される』と認識改良
→ 排尿先としての合理性を承認

▼自己納得プロセス：
『尿意は元々強かった=排尿は必要だった』
『自分の持ち物ならここに排尿しても構わない』
→ 思考生成：
『え？おしっこしたかったし、ブラにかけると
一番床が汚れるので合理的でしょ』
→ 貼着・疑問感情：除去完了

命令実行：完了
思考回路：ON

自分の持ち物に
かけちゃえば
お店に迷惑
かからないかなって



キミはなぜ
こんな
ことを？

え？だって
おしっこ
したかったし…

こ…
この人は
何を言って
るんです

さて
本人に意見を
聞いてみよう

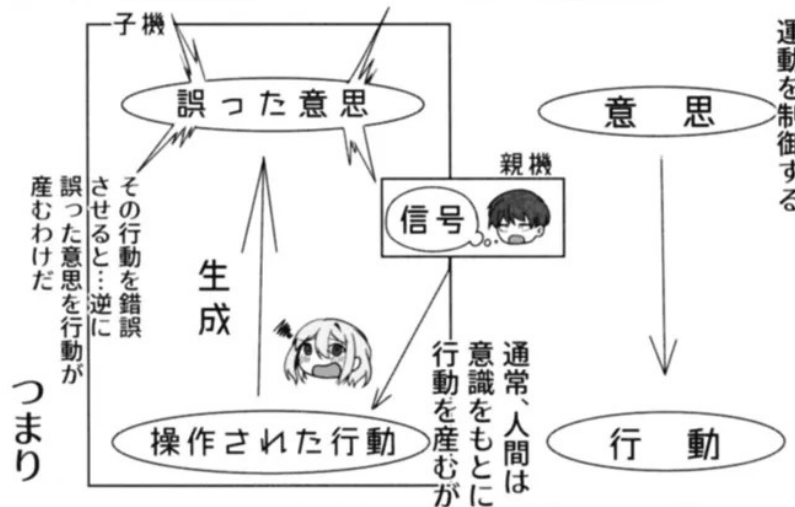


言っただろう？
ナノマシンだよ

親機から送信
された
電気信号により
運動を制御する



この小さな
機械は脳の
神経細胞に
働き



その行動を錯誤
させると…逆に
誤った意思を行動が
産むわけだ
つまり

この子達は
キミの命令に
無条件で従う



さあ…
残りの女性たちも
すべてキミの子機に
してみたまえ

そして
命ずるんだ

それが倫理から
常識から…もとの
意思から外れて
いようと

その命令に
気づくことすらなく
…「誤った意識」を
もとに実行される

それだけで
彼女たちは
動いてくれる

キミの念じた
通りに…ね



やっ
て
みなさい

ゴッ…



どうだ？キミの
思った通りに
動くだろうか



どんなに
異常な命令
でも…ね



お店でこんな
なんですか…

こんなことを
俺が…!?

心配ないさ
見たまえ

プー

れろ

れろ

命令書：「口に口を…」
対象：F003(五十嵐) F005(新倉) 状況分析中…

▼行動フェーズ：
口を口を…
…
…

▼異変プロセス：
…
…

▼自己納得プロセス：
…
…

命令書：「F004(高野)…」
対象：F004(高野) 状況分析中…

▼行動フェーズ：
…
…

▼異変プロセス：
…
…

▼自己納得プロセス：
…
…

命令書：「F002(高野)…」
対象：F002(高野) 状況分析中…

▼行動フェーズ：
…
…

▼異変プロセス：
…
…

▼自己納得プロセス：
…
…

命令書：「口に口を…」
対象：F003(五十嵐) F005(新倉) 状況分析中…

▼行動フェーズ：
口を口を…
…
…

▼異変プロセス：
…
…

▼自己納得プロセス：
…
…

命令書：「口に口を…」
対象：F003(五十嵐) F005(新倉) 状況分析中…

▼行動フェーズ：
口を口を…
…
…

▼異変プロセス：
…
…

▼自己納得プロセス：
…
…



なんで服なんか
着ているの
かしら？



…あら？
私…



彼女もとっくに
子機だよ…ゆえに
キミが見つめる
だけで



キミは今
わかっていても
妄想が止まらない

「このまま
裸になったら
どうなるんだ」
って

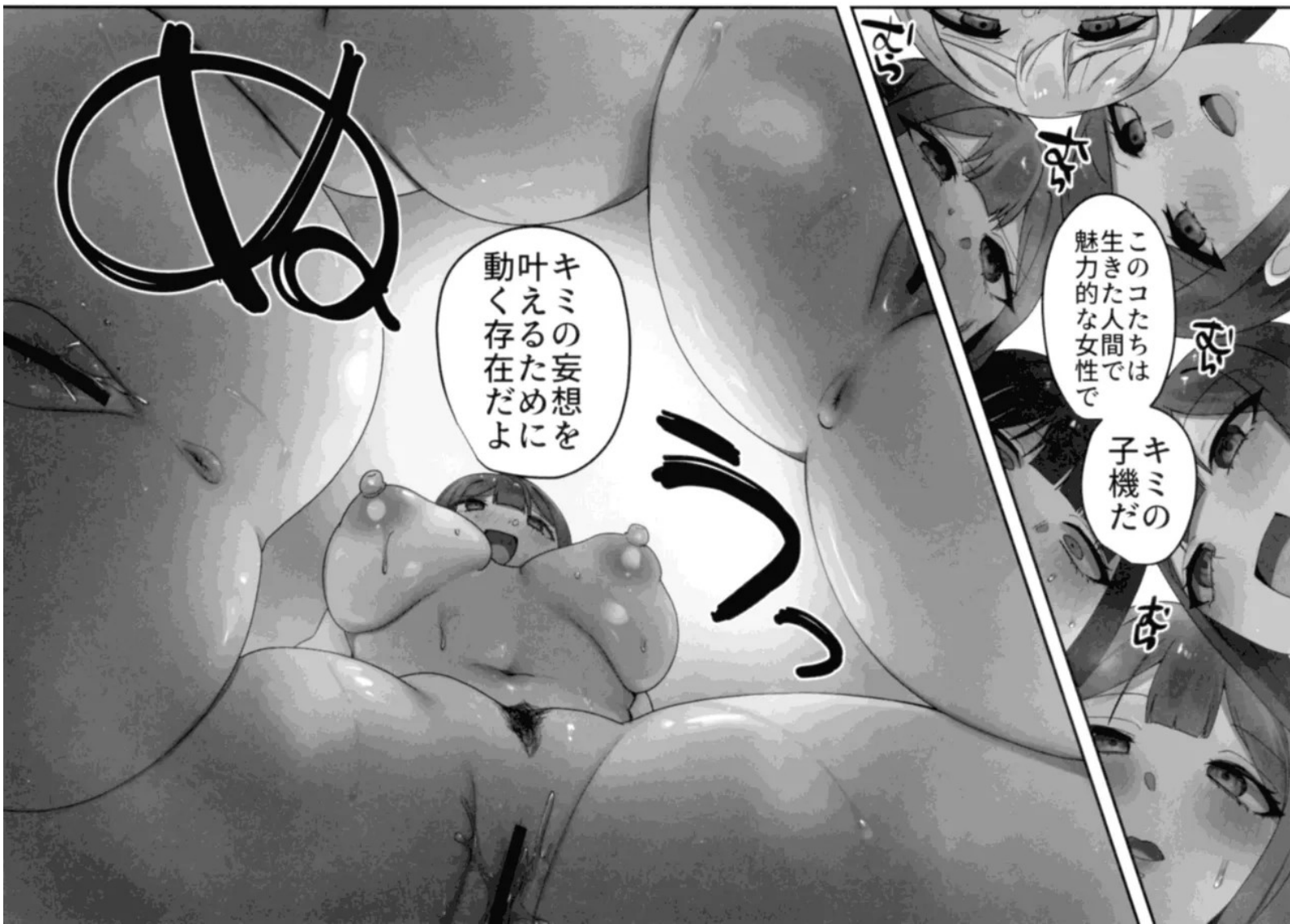
そして…
寝転がって

そのカラダを
使って…

妄想が実現
しているのだから
当然の話だ



一瞬だけ
頭を
よぎった…



キミの妄想を
叶えるために
動く存在だよ

このコたちは
生きた人間で
魅力的な女性で

キミの
子機だ



ほう…
一人を性具に
六人で自慰行為…
こんなことまで
考えられるとはね

キミは私を
性的な視線で
見ていただろう
だから
親機に向くと
思っただろうが



本来の彼女たちは
絶対にしない
反倫理的な行為さえ

ナノマシンは
実行に移して
くれるのさ
素晴らしい
だろう？



この中には恋人が
いる者もいれば
既婚者もいる



キミの命令の成果だ

おっと、彼女たちも限界のようだ

まもなく... 見知らぬキミの前で絶頂する



キミの子機候補がいるからね



ここに もう一体



この光景を... 本当に俺が...!?

片瀬くん まだ実験は終わっていない

まさか... まさか

そもそも私は
研究倫理を無視した
人道にもとる研究を

行くような人間
だったかね？

よく考えれば
不可解では
ないか？

すごいカ…ッ

先生を子機に
登録して
しまおうっ

まずい、
先生の胸を
見ると…

私は…
私の意思で

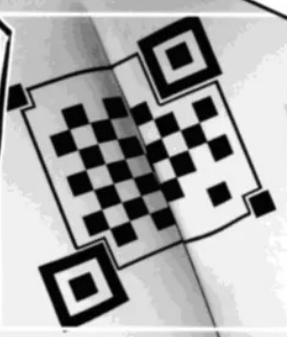
ペアリング
完了

さあ、これで私は
キミの意思で
動く傀儡となった

これからは

キミの意思が
私の意思だ

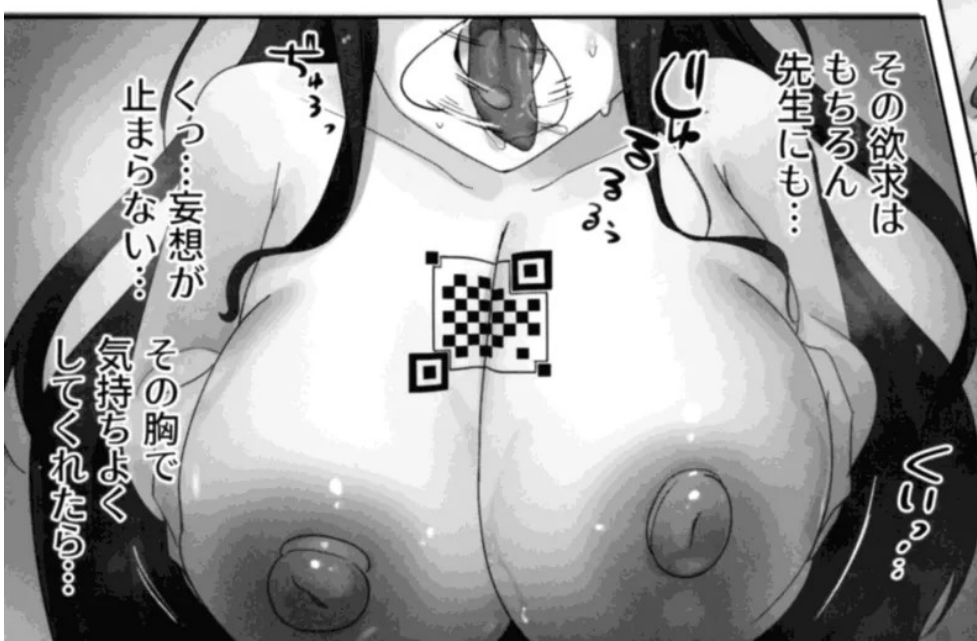
人道を外れ
機械に制御
される存在
なのだよ

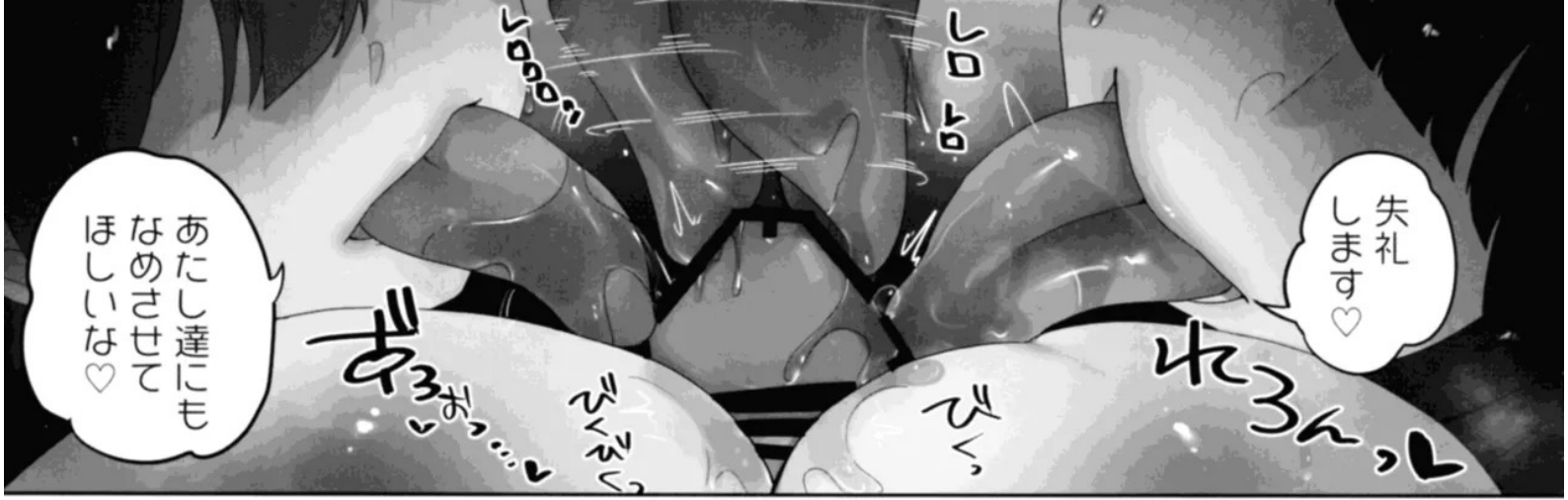


あ…

ア…

ア…





失礼
します♡

あたし達にも
なめさせて
ほしいな♡



やつぱりっ…
この子たちもっ
俺の弱いところをっ
ふーっ
的確に…
本当に俺の意思が
伝わっているっ
めっちゃ

うあっ
亀頭舐め
やばいっ
めっちゃ

射精まじっ



女の子たちが
俺の精液を
求め合っている

誠也さんの
せーえきっ♡



ずるい!
あたしもっ

んん!
私にも
くださいっ



喉かわいた
よね?



嫌でも
興奮
しちゃっ



お疲れでしょう?
私達が支えるので
座りませんか

それも
自分の意思...と
俺に歪められて
進んで実行する

おちんぼ様
綺麗に
しなきゃね



汲み取って
奉仕してくれる

まさに...
理想の
ハイレム!



子機たちが
俺のしてほしい
ことを的確に



マズい...
こんな状況が
来ちまつたら



このハーレムの形成こそが

スリッ



その通りだ

一体の親機が多数の子機を制御する

futanari



私達は自分の意思で言ってるの♡



違わない♡

違う！ちがうっこれは俺の妄想で！



私の夢そして



その通り！これは完全に私の意思

機機が制御した行教え子としたいと願っていた純愛えっちだ♡

私達の夢なんです♡

この自由意思のない傀儡人形にそのおちんぼ様を奥まで挿れて

親機のぶっ濃いザーメンを膣内にありったけ全部ぶちまけてくれ…♡



さあ…私のおまんこを使ってくれ



心配
するなっ♡

私の意思は
キミから
生まれるんだ

気にせず
中出し
しろっ♡



先生っ...!
俺もう
わかんないっ

俺のせいであつ
先生をこう
させてっ...
これは俺の
意思なのか
どうか...



ほら
見て...

...ッ
みんな...



さあ
いけ♡



私たちが
みつけてる
よか？

あなたは安心して
私たちに欲望を
ぶちまけていいの♡

全部私たちの
意思なの♡
ことなってる



おっ
あー





親機との性交で
眠気が飛んだよ
今はコーヒーよりも
キミのザーメンが
飲みたい

くちゅ くちゅ
やっぱ夢じゃ
ないんだな…



す、すんません
…てかなんか
血色よく
なってますん？

あれだけ私を
乱れさせておいて
何を言う



コーヒー
どうぞ♡

…未だ
信じられん…
この状況は
現実なのか？



秘密裏に我々の
ナノマシンは
女性の身を
渡り歩いている
婦警にギャル
コスプレイヤ
海外セレブまで…
美しく
社会的地位も
ある彼女たちを

キミの命令通り
操って…好みに
蹂躪したくは
ないか？



そんな
もの…

言わずとも
伝わる
でしょうに



さて
誠也くん
親機のキミに
頼みたい

そう…
ここに映る
全員が
ナノマシンを
投与されている

これは…
端末の
位置情報？
まさか…



ふふ：
では早速
次の子機を
増やしに
行こう



なにか
大きな
思惑が
クリ
ツ!!



しかし：
気になる
誰が先生に
ナノマシンを投与
したのだろう！

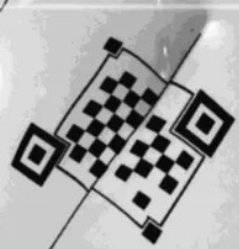


…まあ
今はいいか
こんな光景が
楽しめるの
だから

「それが
「私たち」の
総意
だからね

子機登録済
操作可能個体

子機登録済
操作可能個体



あとがき

こんにちは、りむです。
今回で5回目のコミケ参加です。

先月にカラーマンガを出した関係で大変なスケジュールとなりましたが、
いっばい女の子を操るシチュエーションを描けたのでとても満足しています。
どうしても作画コストが高くなってしまおうのですが
やっぱり集団MCが好きなので、今後もチャレンジしていきたいと思います。

今回は意識の生成プロセスに関するMCものですが
作中の設定は科学的考証などに基づいていないフィクションです。
裏表紙の論文もフィクションとしてお楽しみくださいませ。

今回のお話ですが、他の作品とつながるような続きも考えてありますので
よろしければご感想などお聞かせください。

当日こちらを手にとっていたいただいたすべての方、
ダウンロード版を購入くださった方、
手伝っていただいたみなさんに感謝を表明いたします。

ご注意

無断転載(特に、web上への許可なきアップロード)・無断複製・製作者の
許可なき転売を禁じます。
上記の行為に対しては、発見しだい速やかにしかるべき措置を取らせていただきます。
また、作品の性質上、公共の場でのご閲覧はお控えください。

WARNING

The following actions are prohibited:
-Unauthorized reproduction, duplication
-resale without the permission of the creator

The above actions will be dealt with as soon as they are discovered.
Due to the nature of this work, please refrain from viewing it in public places.

ナノマシン投与による端末化女性個体群への
操作可能性に関する諸考察

発行日 2025年8月17日

著者 りむ
発行 R. S. I. 日本支部

連絡先: close.rim.open@gmail.com
Twitter(X)ID: @close_rim_open
Pixiv <https://www.pixiv.net/users/64720483>

印刷所: ねこのしっぽ

